

仁科地区津波対策地区協議会の開催（仁科川）

静岡県河川審議会
(平成28年度第1回)
仁科・宇久須・安良里-6

伊豆市仁科地区において、市とともに地元住民と津波対策の現状を情報共有し、津波に対する様々な意見を出し合う「仁科地区津波対策地区協議会」を開催しました。今年6月に公表された津波高さや津波対策の基本的な考え方を説明した後に、ワークショップにより津波に対する意見を交換し、各グループで発表を行いました。

開催概要

- 会議名: 第1回津波対策地区協議会
- 開催日: 平成27年9月30日

- 会議名: 第2回津波対策地区協議会
- 開催日: 平成27年11月24日

- 会議名: 第3回津波対策地区協議会
- 開催日: 平成28年2月5日

- 会議名: 住民説明会
- 開催日: 平成28年3月6日



ワークショップ

- グループに分かれ、津波に対する意見を交換を行いました。
- 住民説明会では、地元住民に地区協議会での説明内容を報告しました。



主な意見

津波対策施設の整備に関して

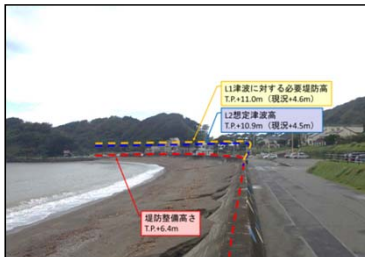
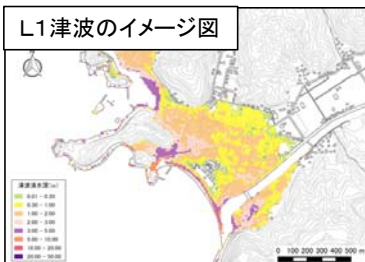
- 【メリット】
- ・住民の不安を低減させ、安心感を得られる。
 - ・観光地としての安全・安心のPRが可能となる。
 - ・避難時間を延ばすことができる。
 - ・資産価値の担保につながる。
 - ・堤防の多目的な活用方法が考えられる。

- 【デメリット】
- ・圧迫感がある。
 - ・景観が損なわれる。
 - ・コストと時間がかかりすぎ。
 - ・観光資源価値が低下する。
 - ・自然環境の悪化
 - ・既設堤防の補強でよい。
 - ・現況もしくは1m高上げでどうか。
 - ・漁業や海への影響をできるだけ与えないようにする。

その他

- ・避難路の整備が必要。
- ・津波避難タワーの整備。
- ・命山の整備について検討。
- ・防護ラインの再検討。

地区協議会における説明



L1津波(T.P.+10.9m)の推定ライン



- 想定されるレベル1津波とレベル2津波について説明。
- レベル1津波に対する必要堤防高の推定ラインを示した写真を紹介。
- 堤防の整備高は、今後地元の意見を聞きながら決めていく事を報告。
- 必要な堤防イメージを示し、ワークショップを行い感想や意見を発表。

今後の予定

地域としての意見集約方法について地区と調整し、地区としての避難を含めた津波対策を決定していく。

宇久須地区津波対策地区協議会の状況（宇久須川）

平成28年度第1回
静岡県河川審議会

西伊豆町宇久須地区において、町とともに地元住民と津波対策の現状を情報共有し、津波に対する様々な意見を出し合う「宇久須地区津波対策地区協議会」を開催しています。昨年6月に公表された津波高さや津波対策の基本的な考え方を説明、必要な堤防高さに対する対策イメージについてワークショップにより津波に対する意見を交換し、各グループで発表を行いました。

開催概要

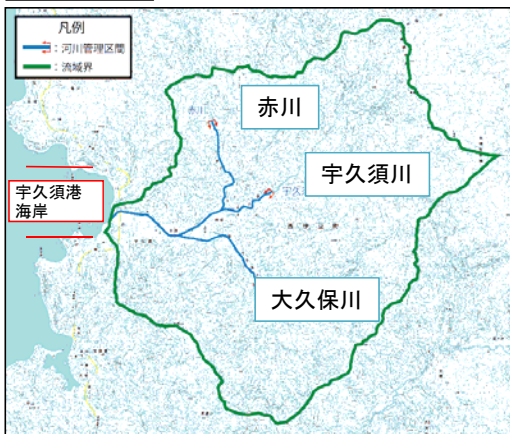
- 会議名：第1回津波対策地区協議会
- 開催日：平成27年9月30日

- 会議名：第2回津波対策地区協議会
- 開催日：平成27年11月30日

- 会議名：第3回津波対策地区協議会
- 開催日：平成28年2月3日

- 会議名：住民説明会
- 開催日：平成28年3月10日

宇久須地区



ワークショップ

- グループに分かれ、津波に対する意見を交換を行いました。
- 住民説明会では、地元住民に地区協議会での説明内容を報告しました。

意見交換



住民説明会



主な意見

津波対策施設の整備に関して

- 【メリット】
- ・安心・安全な生活を送ることができる。
 - ・生命・財産を守ることができる。
 - ・被災者の生活の復興が早くなる効果が期待できる。
 - ・台風の風よけとなる。

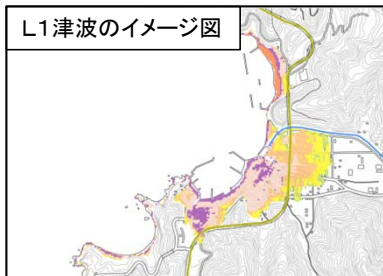
- 【デメリット】
- ・盛土タイプは適当でない。
 - ・圧迫感がある。
 - ・海が見えなくなる。
 - ・景観が損なわれる。
 - ・日当たりや風通しが悪くなる。
 - ・刑務所のような景観となってしまう。
 - ・道路が狭くなってしまふ。
 - ・海側に堤防を整備すると砂浜がなくなってしまう。

その他

- ・今も海が見えないので、嵩上げしてもよい。
- ・整備するならば、海側に整備してもらいたい。
- ・堤防天端を遊歩道として活用したい。

地区協議会における説明

L1津波のイメージ図



説明の様子



- 想定されるレベル1津波とレベル2津波について説明。
- レベル1津波に対する必要堤防高の推定ラインを示した写真を紹介。
- 堤防の整備高は、今後地元の意見を聞きながら決めていく事を報告。
- 必要な堤防イメージを示し、ワークショップを行い感想や意見を発表。



L1津波(T.P.+8.5m)の推定ライン

今後の予定

地域としての意見集約方法について地区と調整し、地区としての避難を含めた津波対策を決定していく。

安良里地区津波対策地区協議会の状況（安良里浜川）

平成28年度第1回
静岡県河川審議会

西伊豆町安良里地区において、町とともに地元住民と津波対策の現状を情報共有し、津波に対する様々な意見を出し合う「安良里地区津波対策地区協議会」を開催しています。昨年6月に公表された津波高さや津波対策の基本的な考え方を説明、必要な堤防高さに対する対策イメージについてワークショップにより津波に対する意見を交換し、各グループで発表を行いました。

開催概要

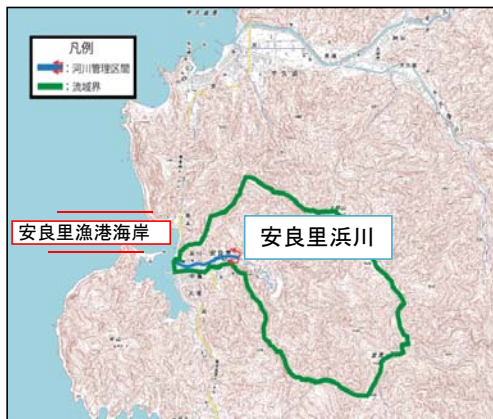
■会議名：第1回津波対策地区協議会
■開催日：平成27年9月30日

■会議名：第2回津波対策地区協議会
■開催日：平成27年11月27日

■会議名：第3回津波対策地区協議会
■開催日：平成28年2月4日

■会議名：住民説明会
■開催日：平成28年3月9日

安良里地区



ワークショップ

- グループに分かれ、津波に対する意見を交換を行いました。
- 住民説明会では、地元住民に地区協議会での説明内容を報告しました。

意見交換



住民説明会



主な意見

津波対策施設の整備に関して

- 【メリット】**
- ・4から6分で逃げ切れないので、避難時間確保のため、防潮堤が必要。
 - ・生命・財産を守ることができる。
 - ・違法駐車がなくなる。
- 【デメリット】**
- ・圧迫感がある。
 - ・景観が損なわれる。
 - ・緊急車両が通りにくいなどの弊害が発生する。
 - ・風の吹き方が変わる。
 - ・環境の悪化により住民が減少する。
 - ・現況もしくは1m嵩上げでどうか。
 - ・漁業や海への影響をできるだけ与えないようにする。

その他

- ・網屋岬を高くしたらどうか。
- ・宅地に影響しないような整備を望む。
- ・既に海が見えないので、嵩上げはやむを得ない。
- ・避難対策もしっかり考えていきたい。

地区協議会における説明

L1津波のイメージ図



説明の様子



- 想定されるレベル1津波とレベル2津波について説明。
- レベル1津波に対する必要堤防高の推算ラインを示した写真を紹介。
- 堤防の整備高は、今後地元の意見を聞きながら決めていく事を報告。
- 必要な堤防イメージを示し、ワークショップを行い感想や意見を発表。



L1津波(T.P.+5.5m、9.0m)の推算ライン

今後の予定

地域としての意見集約方法について地区と調整し、地区としての避難を含めた津波対策を決定していく。